

新年度がスタートし出発と出会いの訪れる4月
みのわ信矢も気持ちを新たに市政を刷新!

4月を迎え新しい年度が始まりました。毎朝の駅頭演説をしていますが、真新しい制服やスーツに身を包んだ方を多く見かけ、街中に新鮮な香りが溢れています。今年度は、みのわ信矢の重要な取り組みの一つでもあった常盤平駅エレベーター設置も実現します。これからも地域の皆さんとともに、気持ちを新たに、地元での暮らしの向上に向けて努力します。



駅で毎朝演説しています!

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝、どこかの駅で街頭演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台。そのどこかでお見かけの際は、ぜひお声がけください。みなさんからの声援を励みにがんばります!



今月から本紙配布開始のみのり台駅でも演説です

無責任にもほどがある市立病院移転計画!
市民不在、公約無視のあきれた内容に怒り!

『上本郷の市立病院を64億円で現地で建て替える』。本郷谷市長のその公約はいったいなんだったのでしょうか? 現地建て替えが法律で不可能ない加減な公約であったにもかかわらず、のりくりと批判をかわし、迷走を重ねた末の千駄堀地区への移転計画。しかし昨年末、建設業者を決める入札で、ゼネコン3社全てが辞退。ただでさえ約4年もの空白期間を生みながら、ついに着工のめどが立たなくなりました。これは、市によるお粗末な予定価格の決定によるもので、ゼネコンによれば大幅な予算の不足が辞退の理由でした。それどころか、この異常事態を受けて本郷谷市長が公表したことは、“事業予算に上限を定めずに、新たな市立病院の移転に引き続き取り組む”、つまり、いくらお金をかけどのような医療を市民に提供するのかわからないまま、移転計画を進めるといなのです。64億円の公約が、一部では既に350億円にまで膨らんだと言われる中、さらに市政を圧迫しかねない無責任な計画を、市民不在で強行することは許せません!

松戸市平成26年度一般会計予算
1,359億4千万円で可決されました!

H26年度の一般会計予算が1,359億4千万円で可決されました。病院移転費用を際限なく膨らませたり、ほとんど効果がなかった各学校への冷風器設置を突如予算化するなどムダが多く見られた昨年の予算執行。その延長で、昨年度比6.3%の増額予算となったことを、単に市政の成長として見るには不安があります。ムダのない市政運営への監視がさらに必要でしょう。予算詳細は本紙中面をご覧ください。



みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生れ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業
家族構成 妻と子ども2人の4人家族

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師(地方自治論)
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸子ども会常盤平地区 会長
- ◇常盤平中学校PTA 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏(エレキギター)、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

松戸市議会議員選挙は今年11月です